



いつもお世話になり有り難うございます。「志政かかみの」を結成して3年目になりますがキッカケとなる事がありました。当時所属していた会派の時、浅野市長と議長の公用車購入予算(車庫も含めて合計1,700万円)に反対の一般質問をしようとしたところ、議会事務局長から「会派の長や議長は既に了解しているのに、会派のメンバーがなぜ反対するのか」と質問を取り下げられるように言われました。一部の議員は予算案に了解していたようですが、納得できず一般質問をしたところ、会派から処罰を受けることになりました。その後新しい会派を作る決断をしました。

さて、今回の航空宇宙科学博物館リニューアルについて、概算費用が昨年9月では30億円(市負担10億)でしたが、この4月に約49億円(市負担15億円)と総額が約1.6倍にふくれあがりました。説明された増額の理由はいずれも納得できるものではありませんでした。

“航空宇宙科学博物館リニューアル”総予算が1.6倍に

予算がなぜ増額になった？

①新たに外構工事や収蔵庫・仮設事務所設置の費用を加えたこと

(外構工事は、未舗装駐車場のアスファルト舗装・タイルの歪み補修、和式トイレを洋式に改修します)

②建築設計における調査で既存施設の改修項目が判明したこと

(雨漏りする屋根は予想以上に大改修が必要、耐震補強・空調の改修が必要になると判明しました)

③有識者によるワーキンググループで得られた意見を計画に反映させたこと

(グッズ販売店や飲食店の改修が必要)

当初の見積もりがあまりにもズサン！

外構工事は、市が今迄にやっておくべき工事であったと県は指摘しました。しかし今まで市は必要ないと予算化しておらず、県がリニューアルに乗りだしてきてから急に、外構工事はやるべき工事だとするのは、承諾できません。

平成26年10月のリニューアル基本構想の検討委員会で、「雨漏りがひどいなど詳細な改修項目の洗い出しが必要である」と指摘されています。昨年9月の概算事業費に屋根の改修費用は含まれていなければなりません。

今後の有識者の話し合いによる設計変更や建築資材・人件費高騰によって、更に事業費が増額されることも懸念されます。

県と市の負担はどのように決まったのか？

質問▶古田知事と浅野市長はどのような話し合いをして費用負担を決めたのか。

市の答弁▶岐阜県と本市の負担のあり方を検討する段階においては、県市のそれぞれの事務担当レベルでの協議を重ねました。その結果をもとに、浅野市長が古田知事と面談し、協議を行って費用負担を決めました。

質問▶今後更に予算が増額されるようなことはないのか。

市の答弁▶この予算内で進めていくつもりですが、万が一経費が変更になった場合はその都度市議会にご報告していきます。

※予算は賛成多数で可決されてしまいました。



「志政かかみの」の考え：この事業は有識者によるワーキンググループでの話し合いが主に反映されており、事業成功の鍵を握る市民がどのように考えているかについて殆ど議論されず、議会が承認すれば問題ないと説明しました。市民の理解や関係する組織の同意を得ながら慎重にリニューアル事業を進める必要があると考え、整備費予算について反対しました。

※金額などの詳しい内容は“杉山もとのり”ホームページをご覧ください。

老朽化…公共施設どう管理するの

岐阜市は市が管理する公共施設をまとめた白書を作成しました。その結果、公共施設の約6割が建築から30年以上経過し老朽化が進んでおり、建て替えたり修繕したりするには今後30年間で1兆2,000億円を超える予算が必要で、市の財政状況からすると5,300億円（約44%）が不足すると試算しました。つまり、今迄のような考えでは4割以上の公共施設が更新できないことになり、深刻な問題であると市民に伝えました。

各務原市も今年度末までに「公共施設等総合管理計画」を作成して、公共施設の更新にはこれから先どれだけ予算が必要で、どれだけ不足するのかを試算します。今ある公共施設を有効活用することや、公共施設の削減についても議論されることになると思います。

公共施設の基本的な考え（さいたま市の例）

「複合化」と「長寿命化」

ハコモノ三原則

- 新しい施設は原則としてつくりず、今の施設を有効活用する。
- 施設を建てかえる場合には、ほかの施設とまとめてつくり直す。
- 今の施設の床面積を60年間で15%程度減らす。

複合化

インフラ三原則

- 今の経費の範囲でインフラの整備・維持・管理を行う。
- 施設のためにかかる経費（ライフサイクルコスト）を減らす。
- あらたに生じる市民のニーズに効率的に対応する。

長寿命化

“ふれあいバス”を愛着がもてるバスに



昨年10月からふれあい

バスがリニューアルされ
バスを6台から9台に増

やして待ち時間を少なくする見直しを行いました。しかし市民の声を聞くと不満の声も聞かれ、利用客を増やすためにはもっと工夫が必要ではないかと考えています。

ひとつの事例として、岐阜市芥見の“みどりっこバス”の事例を紹介します。みどりっこバスには乗り降りの手伝いや荷物を運んだりする“ヘルパーさん”がいます。お年寄りの方でも安心して利用することができますし、顔見知りになって楽しい会話もできます。本市でも参考にできるのではないのでしょうか。

8月からふれあいバスの意見交換会が市内各地で行われ、来年度は少し見直しも検討されるようですので、市民に愛されるふれあいバスになってほしいと考えます。

消防署と市役所建て替えは一緒に

市役所の東側にある消防庁舎は昭和41年建設で、市役所（昭和48年）よりも7年前に建設されており築50年になります。平成18年に耐震補強及び増改築工事が行われていますので外見は新しく見えますが、今後30年以内には建て替えを検討する必要があります。消防庁舎を解体すれば市役所の東側に大きなスペースができ、新しい市役所を無理なく建てることのできるため、それまで市役所は耐震補強して使用し、消防庁舎の建て替えと一緒に検討するべきと考えます。

現在の建て替え計画は現庁舎を建てたまま市役所南側や、消防庁舎北側に建設する案がありますが、何れも見栄えの良い位置ではなく、場所が狭く工事の安全確保が難しいと思います。



○議会インターネット中継について：「Youtube」又は、「杉山もとのり」のホームページから議会中継録画がご覧いただけます。また、Facebookで活動報告していますのでご覧ください。

【杉山もとのり事務所】〒504-0905 各務原市蘇原六軒町2丁目9番地

ホームページ <http://sugiyama-m.com> 電話/FAX 058-383-2900

